

## 個人用ノートパソコンの準備について

名古屋大学では、オンラインによる授業と対面による授業を併用しています。オンライン授業はもちろん、対面授業においてもパソコン（PC）等の情報機器の活用は不可欠になりつつあります。キャンパス内には PC の設置された端末室もありますが、台数も開室時間も限られています。講義を支障なく受講し、本学での学びをより有意義なものとするため、新入生の皆様には各自で PC を準備していただくことを強く推奨します。

ご準備いただく PC のメーカー・機種等は指定しませんが、在学中の活動に支障がないよう、下記に示す一定の性能を持つ PC のご準備をご検討ください。

### 推奨仕様について

#### 1. 基本要件

- 容易に持ち運びができるノート型 PC であること  
ゼミや演習では、自分の PC を大学に持参してプレゼンテーションを行うこともあります。PC のサイズや重量等についても十分ご注意ください。
- 無線 LAN（Wi-Fi）への接続が可能であること  
キャンパス内では、学生・教職員向けに無料の Wi-Fi サービスを提供しています。講義中に Wi-Fi に接続し、講義資料にアクセスしたりデータを共有したりする可能性もあります。
- オンライン講義に必要なマイク、スピーカー、カメラが利用できること  
オンライン講義において教員や他の学生とコミュニケーションができるよう、マイク、スピーカー、カメラを内蔵した PC を選択するか、PC に接続できる外部機器を別途ご準備ください。
- Microsoft Office が動作する性能を持つこと  
講義や演習、レポート作成課題等では、Microsoft Office の利用を前提としていることもありますので、Microsoft Office が動作する PC を選択して下さい。なお、名古屋大学では在学学生所有の PC にインストール可能な Microsoft Office を無償で提供していますので、新規に PC をご購入の場合、Office 搭載モデルを選んでいただく必要はありません。

#### 2. 具体的な性能等

「推奨仕様」と「最小仕様」の2種類を「表1：PC仕様表」に示します。「推奨仕様」を満たしていれば、1台のPCを卒業まで快適に利用できると考えられます。「最小仕様」は、簡単な文書作成やオンライン講義の受講等に支障のない最低限の仕様です。学部や学科によっては、追加の要件や仕様を設けている可能性もありますので、「表2：学部・学科ごとの注記」も確認してください。

表1：PC仕様表

	推奨仕様	最小仕様
OS	Windows 11 または mac OS Ventura (13.0)以上	
CPU	Intel Core i5 (第8世代) と同等以上 Mac の場合 M1 と同等以上でも良い	Intel Core i3 (第8世代) と同等以上
メモリ容量	8 GB 以上	
記憶装置容量	SSD 256GB 以上	HDD 256GB 以上
無線 LAN	Wi-Fi 5 以上の規格に対応 (IEEE 802.11 ac、ad、ax のいずれかに対応)	
ディスプレイ	12 インチ以上	
バッテリー 駆動時間	カタログ値で 8 時間以上 USB PD 給電に対応	カタログ値で 5 時間以上
入出力装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物理キーボードを有すること (着脱型・分離型でも可)</li> <li>● HDMI 映像出力端子を有すること (アダプターを介しての出力も可)</li> <li>● オンライン会議等で利用可能なカメラを有すること (USB 接続の外部カメラを別途準備するのでも良い)</li> <li>● スピーカーおよびマイクを有すること (両機能を有するヘッドセットを別途準備するのでも良い)</li> </ul>	
セキュリティ ソフト	市販のセキュリティソフトをインストールし、定義ファイルを最新に保つこと。Windows の場合、OS 付属の Windows Defender でも可。	

表2：学部・学科ごとの注記

文学部	心理学分野・専門への分属を希望する場合は、推奨仕様を満たす Windows PC を準備することが望ましい。 地理学分野・専門への分属を希望する場合は、地理学に関わる演習や実習に備え、メモリ 16GB 以上の Windows PC とすることが望ましい。	
教育学部	新規に購入する場合は、推奨仕様を満たす PC を準備することが望ましい。	
法学部	法令判例データベース等の中には Windows のみサポートのものがあため、Windows PC を推奨する。	
経済学部	推奨仕様を満たす PC を準備することが望ましい。 Windows PC の購入を推奨する。	
情報学部	推奨仕様を満たす PC を準備することが望ましい。	
理学部	推奨仕様を満たす PC を準備することが望ましい。 数理学科への分属を希望する者について、Mac, Windows の選択に迷う場合は Mac を推奨する。	
医学部	医学科	推奨仕様を満たす PC を準備することが望ましい。
	保健学科	既にノート型 PC を保有している場合、入学から当面の

		間は、多少仕様を満たさないノート型 PC でも構わない。
工学部	化学生命工学科 物理工学科 マテリアル工学科	最小仕様を満たす PC で十分である。
	電気電子情報工学科	推奨仕様を満たす PC を準備することが望ましい。
	機械・航空宇宙工学科	専門系科目での演習実施のため、メモリ 16GB 以上の Windows PC とすることが望ましい。
	エネルギー理工学科	Mac を購入する場合、仮想化ソフトを導入して Windows を使用できるよう設定することが望ましい（該当する演習は 1 年次秋学期履修であるため、入学時点では Windows の利用準備が整っている必要はない）。
	環境土木・建築学科	3D CAD や画像編集等に用いるため、推奨仕様に加え、メモリは 16GB 以上（もしくは 8GB で増設可能）、ディスプレイは 13 インチ以上であること（より大きいことが望ましい）。
農学部		4 月 3 日開催予定の学部ガイダンスまでに準備すること。 なお、既にノート型 PC を保有している場合は、最小仕様を満たすノート型 PC でも構わないが、新たに購入する場合には推奨仕様を満たす PC を準備することが望ましい。

### 3. 仕様に関する注意事項

- 上で示す仕様は、PC を準備する際の目安として示すものであり、この仕様を満たさない PC の使用を禁止するものではありません。たとえば、入学から当面の間は自宅で使用していた古い PC（ここに示す仕様を満たさないもの）を使い、大学の様子がわかってきた時点で自分専用の PC を準備する等の対応を取って頂いても構いません。
- 「最小仕様」の PC は、大量のデータ処理や動画編集等には向きません。将来の研究内容によっては、在学中に PC の買い替えを余儀なくされるかもしれませんので、可能であれば「推奨仕様」を満たす PC の準備をお勧めします。
- 学部・学科から Windows PC の利用を推奨されている場合、Mac の購入については慎重にご検討下さい。Windows PC の利用を前提に実施される講義等において、ご自身で OS の差異に対処して頂く必要が出てきます。
- PC の管理や基本的な操作方法の習得、障害発生時の対応等は、ご自身で行って頂く必要があります（本学の教職員は、個人が所有する機器のサポートを行いません）。マニュアルや Web ページ等を活用し、自らのスキルアップを心がけてください。

## 大学が提供するソフトウェア， サービス， その他留意事項

- 本学は Microsoft 社との間で包括的なライセンス契約を行っており、在学期間中は、同契約に含まれる下記のソフトウェアやサービスを無料で利用することができます。新しく PC を購入される場合、これらソフトウェアの搭載されたモデルを選んで頂く必要はありません。
  - Microsoft 365 Apps for enterprise (旧称 Microsoft Office 365 ProPlus)：この中には Word, Excel, PowerPoint 等のプログラムが含まれます。1 人最大 5 台までの PC にインストール可能です。
  - OneDrive for Business：インターネット上のサーバにファイルを保管する大容量クラウドストレージサービスです。単なるデータバックアップだけでなく、複数端末でのファイル自動同期や、他の学生・教職員との共同編集作業等にも対応しています。
  - Teams：ビデオ通話機能を含むコミュニケーション支援ツールで、オンライン講義等で利用されます。
- キャンパス内では無線 LAN (Wi-Fi) サービスが提供されており、学生・教職員は、持参した PC やスマートフォン等を無料でインターネットに接続することが可能です。また、キャンパス内の各所に PC 教室（情報メディア教育システムのサテライトラボ）が設置されており、開室時間内であれば、同教室に設置された PC を利用することも可能です。
- 自宅や下宿からオンライン講義に参加するためには、住居において、高速なインターネット回線が必要となります。スマートフォンの公衆回線通信を使用すると高額な費用が発生する可能性もありますので、住居でのネットワーク環境の確保についてもご留意下さい。
- 最近のノート型 PC には、購入後のメモリ増設ができない機種も増えつつあります。必要なメモリ容量について判断に迷う場合は、最初から大容量のメモリを搭載する機種か、事後のメモリ増設が可能な機種をご検討ください。
- 多くの PC には 1 年間のメーカー保証がついていますが、メーカーや販売店によっては、数年にわたる長期保証や操作に困ったときの相談窓口が提供されていることもあります。PC の管理や操作に不安がある場合、それらサービスの有無についても留意のうえ、機種や購入先を検討してください。
- 「推奨仕様」を満たす PC は、名古屋大学生協同組合でも取り扱う予定です。詳細については、名古屋大学生協からの案内等をご参照ください。

## 参考：仕様表で使われている用語について

- CPU はコンピューターの心臓にあたる装置で、カタログ等ではプロセッサとも表記されます。PC の世界ではインテル社の製品が広く使われており、同社製品を基準として CPU 性能を記載するのが一般的です。同社の製品名には下記の規則性がありますので、性能比較の際の参考としてください。

## Core i5-8365U

① ② ③ ④

① ブランド名：Core ブランド以外に Celeron 等のブランドもありますが、各種性能が劣りますので、学習・研究用途での利用は推奨しません。

② シリーズ名：Core ブランドには i3、i5、i7、m3 等のシリーズがあり、数字が大きくなるにつれて高性能となります。m から始まるシリーズは省電力性を重視しており、そのぶん計算性能は低めになっています。

③ 型番：インテル社の CPU は、製造技術の違いにより「世代」分けされています。型番の最初の 1 桁または 2 桁が世代番号を表し、世代番号が大きいほうが高性能です。最初の 1 桁が 8、9 であれば第 8、9 世代、最初の 2 桁が 10、11 であれば第 10、11 世代となります。

④ 特性記号：CPU の特性を示します。U は省電力でノート PC 向け、Y は計算性能を犠牲にして超省電力性を追求、G はグラフィック性能に優れる等、CPU の個性を表します。

- SSD（ソリッドステートドライブ）は HDD（ハードディスク装置）よりも高価ですが、動作速度や省電力性、耐故障性に優れています。HDD に比べ物理的な衝撃に強いいため、持ち運んで利用することが前提となるノート型 PC では、SSD に大きな優位性があります。
- 無線 LAN には多くの規格があり、新しい規格のほうが速度も安定性も優れています。メーカーによって記載方法が異なりますが、カタログ等に Wi-Fi 6、Wi-Fi 5、IEEE 802.11ac、ad、ax のどれかの記載があれば、必要十分な性能があると考えられます。新しい規格に準拠していれば古い規格での通信にも対応可能ですので、ご家庭で古い無線ルーター等をお使いの場合でも、接続に支障が生じることはありません。
- USB PD 対応のノート PC では、USB ケーブルを介して充電・給電を行うことができます。長時間の講義でバッテリー切れとなった場合でも、友人から充電器を借りたり、ショップの充電ステーションを利用したりすることが可能となります。